

Express5800/310Lc-R(Windows版)



- Xeon™プロセッサ(2.80GHz)
- メインメモリ:最大3GB
- 内蔵ハードディスク:最大618.1GB
- CPUモジュール二重化
- PCIモジュール二重化
- 4Uサイズ
- Windows Server 2003,Enterprise Edition

Express5800/310Lc-R

モデル	Express5800/310Lc-R		冗長性
型番	N8800-077		
CPU ^{*1}	Xeon™プロセッサ		二重化
	クロック周波数	2.80GHz	
	二次キャッシュ	512KB	
	搭載可能CPU数(標準搭載)	1(1)	
チップセット	ServerWorks GC-LE(400MHz)		二重化
メモリ ^{*1}	標準	512MB(DDR200 SDRAM-DIMM 256MB × 2)	二重化
	最大	3GB(DDR200 SDRAM-DIMM 512MB × 6)	
内蔵HDD ^{*2}	標準	18.1GB(10,000rpm)	二重化
	最大	618.1GB(18.1GB+300GB × 2)	
	ディスクコントローラ	Ultra160 SCSI(2ch)	
FDD(外付け USB接続)	720KB/1.44MB対応 × 1		
CD-ROM	薄型(24倍速以上) × 1		
5インチデバイスベイ[空き]	なし		
PCI拡張スロット[空き] ^{*3}	3[2(64bit/33MHzx2)] (グラフィックアクセラレータで1スロット(32bit/33MHz)占有済)		二重化
外部インタフェース	LAN ^{*3}	100BASE-TX × 1、1000BASE-T × 1	二重化
	その他	ディスプレイ(ミニD-sub15ピン) × 1、USB × 2	内部バス二重化
筐体デザイン	4Uラックマウント		
外形寸法(W × D × Hmm)	480 × 790 × 177		
最大質量	61Kg		
電源	二極平行アース付きコンセント × 2(AC100V ± 10%、50/60Hz ± 1Hz)		二重化
最大消費電力	880VA/870W		
発熱量	3,132KJ/h		
環境条件	温度:10 ~ 35、湿度:20 ~ 80%(ただし、結露しないこと)		
主な標準添付品	電源コード、外付FDD(USB接続)、鍵、EXPRESSBUILDER、構成品表、ユーザーズガイド、ユーザーズガイド(セットアップ編)、保証書、お客様登録申込書		
インストールOS	Windows Server 2003,Enterprise Edition ^{*4}		
機能対応	Rapid Disk Resync機能対応		
サポートOS	Windows Server 2003,Enterprise Edition ^{*4}		

*1 CPUモジュール当りの搭載数と記載。二重化を行っているため、実際の搭載数(容量)は2倍。

*2 利用可能な物理容量を記載(1stHDDは標準搭載18.1GB固定)。

*3 PCIモジュール当りのスロット数を記載。

*4 内蔵HDDのミラーリングはOS標準可能で実現

Windows Server 2003,Enterprise Edition, RDR (RapidDiskResync) 機能対応モデル

N8800-077

Express5800/310Lc-R(X/2.80G(512)-18W2K3E-D-R)

1,480,000円

<1wayキャンペーンモデル RDR機能対応>

Xeon™ プロセッサ (2.80GHz) × 1 (**CPU増設不可**)、512KB 2ndキャッシュ、外部動作周波数 400MHz

512MB DDRメモリ、18.1GB HDD(10K回転)、FDD、

CD-ROMドライブ(24倍速以上)、Ultra160 SCSI(2ch)対応、

100BASE-TX、1000BASE-T標準(Remote Wake Up機能付)

Windows Server 2003,Enterprise Edition(25CAL付)インストール

EXPRESSBUILDER(ESMPRO/ServerManager、Agent含む)添付

Rapid Disk Resync機能対応

「ft制御ソフトウェア」について

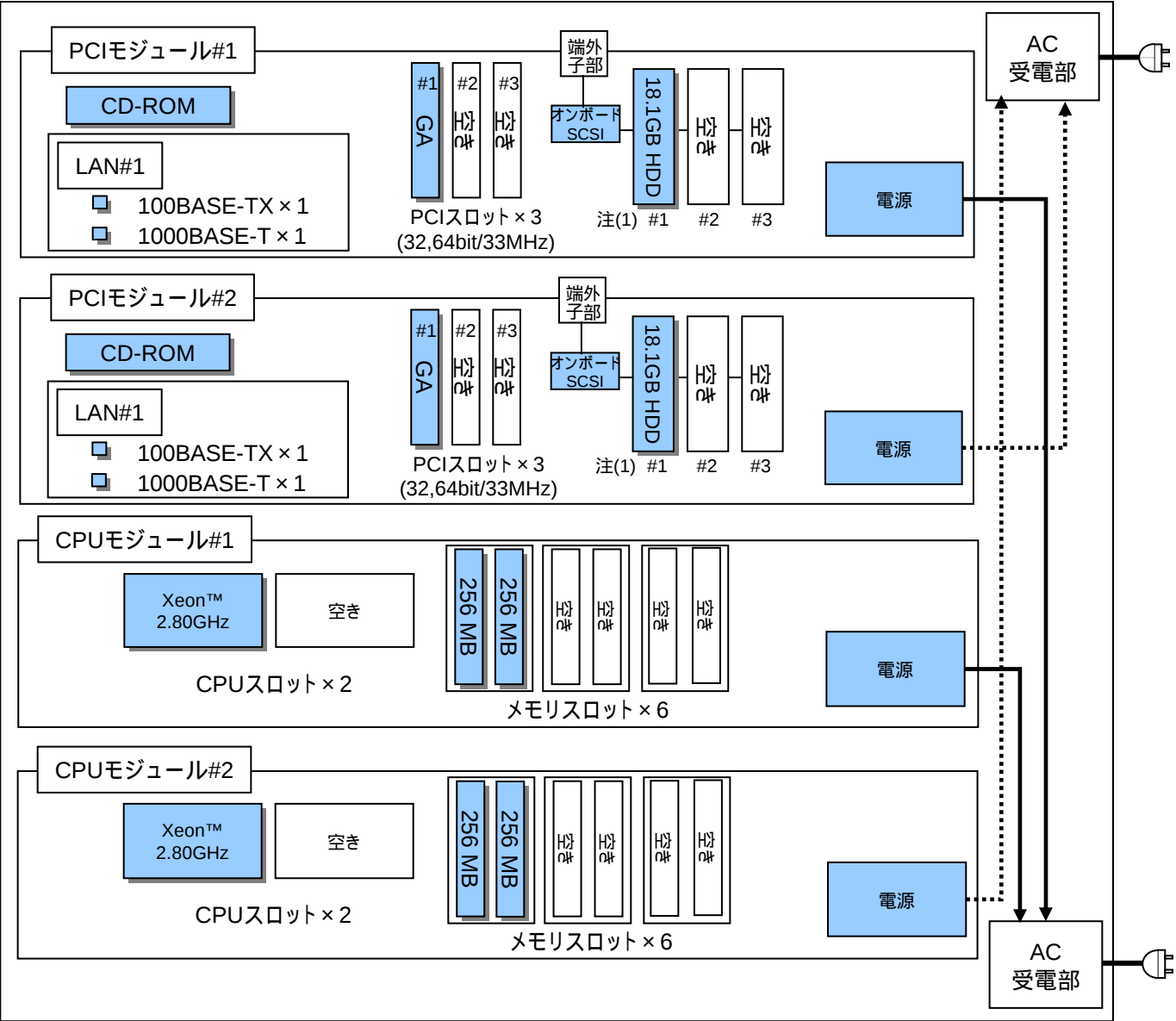
「ft制御ソフトウェア」は、Express5800/ftサーバの主要コンポーネントの多重化動作を実現する技術のひとつです。新しくオプション装置をサポートする場合には、「ft制御ソフトウェア」のリビジョンアップが必要になる場合があります。「ft制御ソフトウェア」のリビジョンアップには、ソフトウェア保守サービス「PP・サポートサービス」の契約が必要です。

「ft制御ソフトウェア」のバージョン確認方法

ft制御ソフトウェアのバージョンは、本体添付の「EXPRESSBUILDER」に格納されている「バージョン確認ツール」で確認することができます。

Express5800/310Lc-Rのft制御ソフトウェアのバージョンは下記の通り

Windows2003搭載モデル[N8800-077]は**Ver3.1**です。



注 (1) 1stHDDは標準搭載18.1GB固定

PCIモジュール搭載可能スロット

○ 搭載可能

型名	製品名	Slot#1	Slot #2	Slot #3	備考
		32bit	64bit	64bit	
N8803-031	Fibre Channelコントローラ (Optical) (動作周波数: 33MHz)	—	○	○	最大1枚まで

- 【重要】
- (1)PCIモジュール#1, #2 それぞれの同スロットに、同じボードを必ず搭載すること。
 - (2)スロット#1は グラフィックアクセラレータを標準で実装済み。取り外し不可。
 - (3)LANボードの搭載対応表は、LANの項目を参照ください。

CPU

CPUスロット

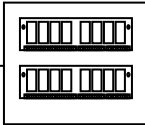
Xeon™プロセッサ (2.80GHz) 2個標準搭載
(1Way構成: 各モジュールに1個ずつ搭載)

*** CPU増設不可**

メモリ

メモリスロット

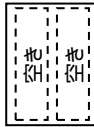
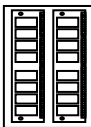
DDR200 SDRAM-DIMM4枚セット。
標準メモリを1GB(512MB × 2)に置き換えることで最大3GBまで実装可能。



N8802-015	512MB(256MB × 2)	増設メモリ2個セット	94,000円
N8802-016	1GB(512MB × 2)	増設メモリ2個セット	160,000円

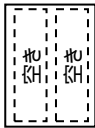
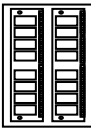
1個手配

CPUモジュール#1



512MB (256MB × 2) 標準実装

CPUモジュール#2

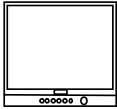


512MB (256MB × 2) 標準実装

ディスプレイ

ディスプレイインタフェース
ミニD-Sub15ピン(メス)

ディスプレイは本体に標準添付されていないので必須。



N8171-30B	15型カラーディスプレイ	36,000円
N8171-45	15.1型液晶ディスプレイ	66,800円
N8171-45ラック搭載時、K410-142(04) ACケーブル 3000円が必要		

収納ユニット

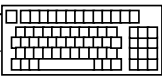
「N8171-30B」選択時	N8143-28A	ディスプレイ/キーボード収納ユニット(10U)	48,000円
「N8171-45」選択時	N8143-54A	液晶ディスプレイ/キーボード収納ユニット(2U)	62,000円

キーボード

USB



USB延長ケーブル
[THD-ZSW0006158]
1,200円
(ケーブル長2m)



N8870-001 キーボード(USB)(ケーブル線長1.8m) 15,000円

マウス

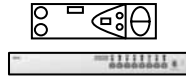
キーボードのUSBハブにて接続



N8870-010 マウス(USB)(ケーブル線長1.85m) 5,000円

サーバスイッチユニット

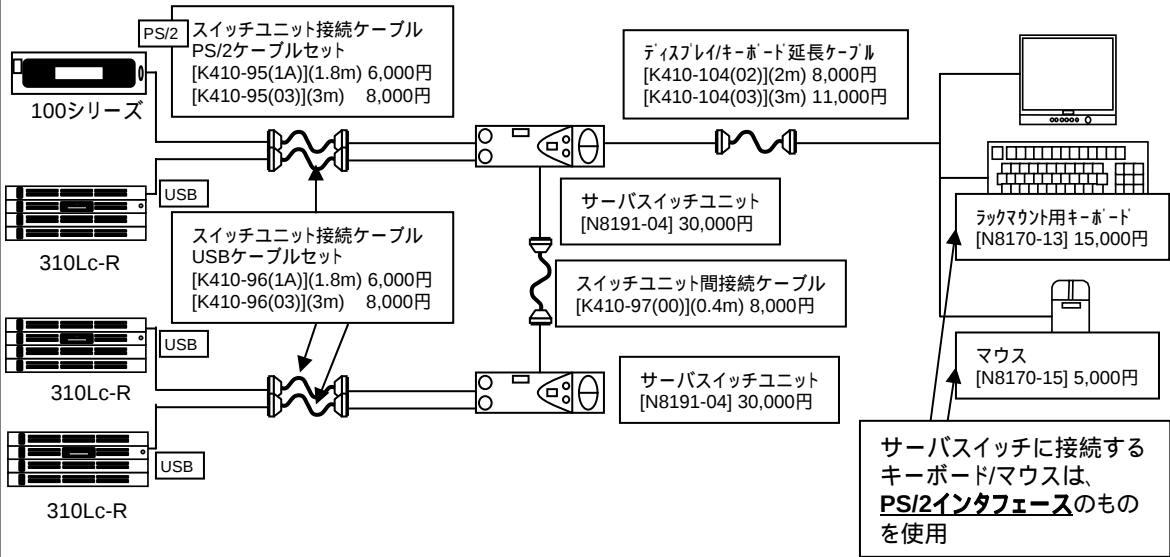
2台以上のサーバを構成する場合、必要に応じて手配



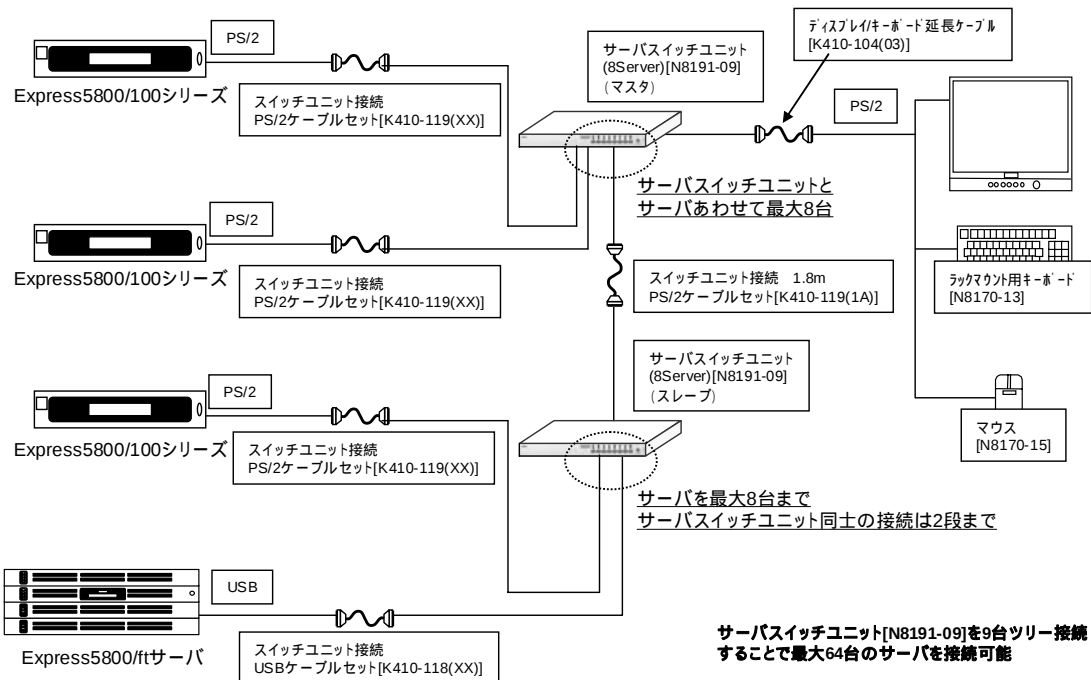
N8191-04	サーバスイッチユニット(2Server)(1U)	30,000円
N8191-09	サーバスイッチユニット(8Server)(1U)	125,000円

N8191-04を使用する場合、サーバスイッチユニットをラックに搭載するためのトレイが必要
N8140-97 汎用トレイ 34,000円

サーバスイッチユニット[N8191-04]を使用した接続例(最大4台)



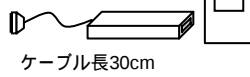
サーバスイッチユニット[N8191-09]を使用した接続例



FDD

USB

USB延長ケーブル
(ケーブル長1.5m)
標準添付



3.5" FDD(720KB/1.44MB対応) × 1
外付けFDD(USB接続) 標準添付

外付けFDDを使用する場合、ラック前面にてFDDを使用するため、搭載するトレイが必要
N8140-97 汎用トレイ 34,000円

CD-ROM

PCIモジュール#1

CD-ROM

PCIモジュール#2

CD-ROM



CD-ROMドライブ(薄型、24倍速) × 2 標準装備
同時認識不可

LAN

ひとつのPCIモジュールに2ポート、ftサーバ全体で2組(4ポート)標準実装。

PCIモジュール#1
オンボード

100BASE-TX

LANインターフェース#1

LANインターフェース#2

1000BASE-T

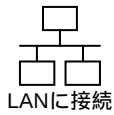
100BASE-TX

LANインターフェース#1

LANインターフェース#2

1000BASE-T

PCIモジュール#2
オンボード



LANに接続

ftサーバでは、標準でLANは二重化。
これにより片系に障害が起きた場合は自動的にもう片系で処理を継続。

100BASE-TXボードを増設する場合

ひとつのPCIモジュールに最大2枚、ftサーバ全体で合計2組(4枚)まで増設可能。

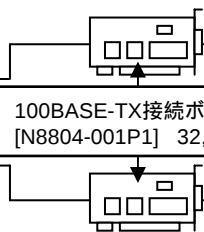
PCIモジュール#1

PCIスロット

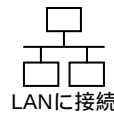
PCIモジュール#2

PCIスロット

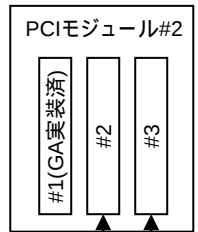
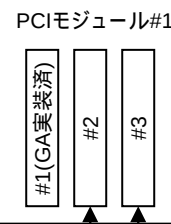
2枚1組セット型番



100BASE-TX接続ボードセット
[N8804-001P1] 32,000円



LANに接続



- 同じ番号のスロットに増設
- ひとつのPCIモジュールに最大2枚増設可能

1000BASE-SXボードを増設する場合

ひとつのPCIモジュールに最大1枚、ftサーバ全体で合計1組(2枚)まで増設可能。

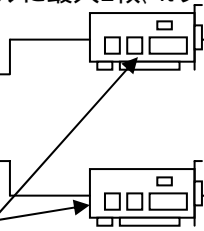
PCIモジュール#1

PCIスロット

PCIモジュール#2

PCIスロット

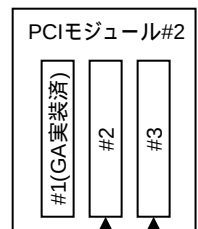
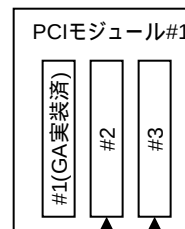
2枚セットで
手配のこと



1000BASE-SX接続ボード
[N8104-84] 128,000円

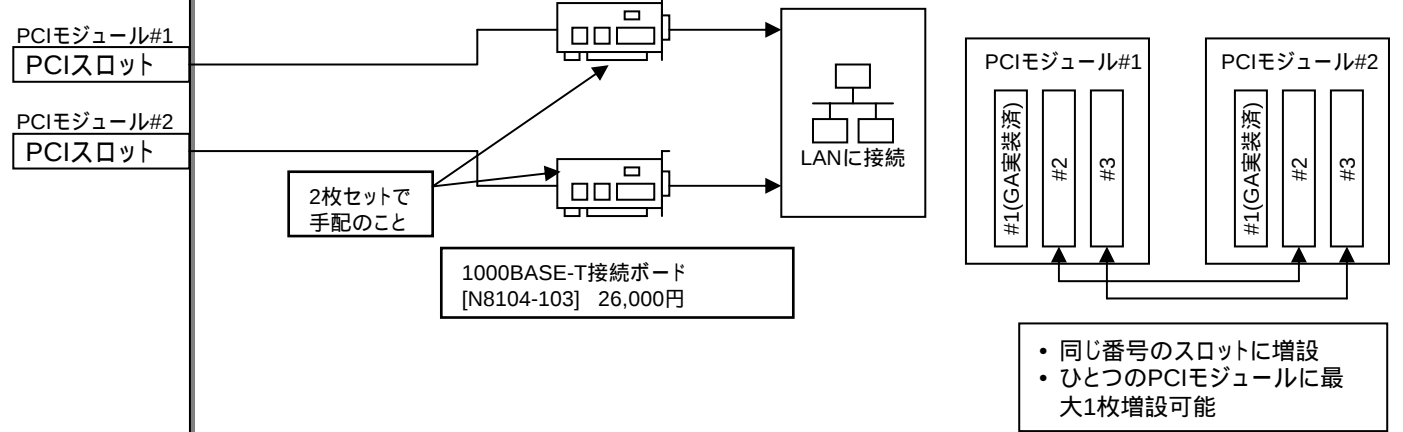


LANに接続



- 同じ番号のスロットに増設
- ひとつのPCIモジュールに最大1枚増設可能

1000BASE-Tボードを増設する場合
ひとつのPCIモジュールに最大1枚、ftサーバ全体で合計1組(2枚)まで増設可能。



製品名	型番	PCIモジュール			注意事項
		#1	#2	#3	
100BASE-TX 接続ボード	N8804-001P1	G A 実 装 済	○	○	
1000BASE-T 接続ボード	N8104-103		○	○	1000Mbpsで使用可能なものはオン ポートもあわせて2組まで。残りは 100Mbpsで使用
1000BASE-SX 接続ボード	N8104-84		○	○	1000Mbpsで使用可能なものはオン ポートもあわせて2組まで。残りは 100Mbpsで使用

【重要】

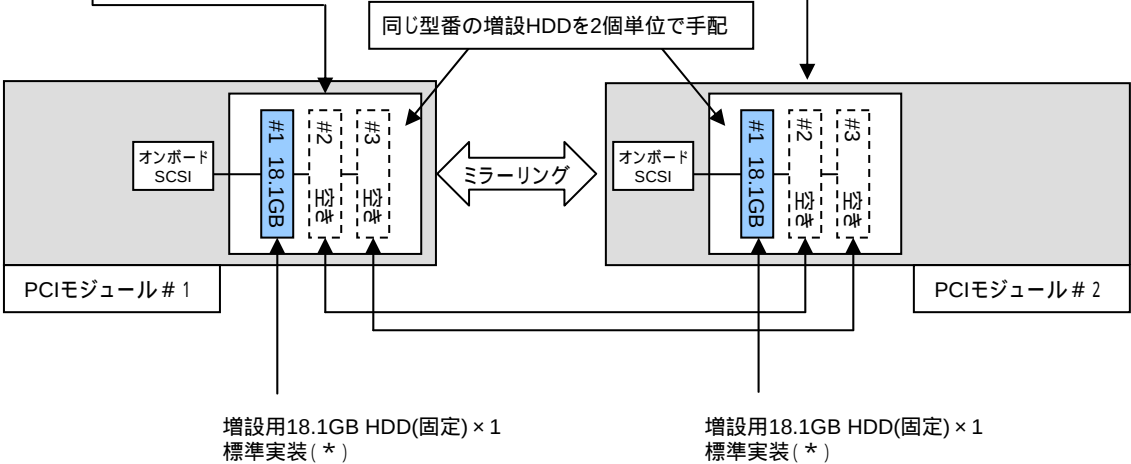
- (1)PCIモジュール#1, #2 それぞれの同一スロットに、同じボードを必ず搭載すること。
- (2)PCIスロット#2, #3の挿入順位は関係ありません
- (3)1000BASE-Tおよび1000BASE-SXの増設(上記表の 部)に関しては以下の点にご注意願います。
 - ・ひとつのPCIモジュールに最大1枚増設可能です。(物理搭載数 2枚)
 - ・各接続先の使用用途が異なり、同タイミングでのアクセスが発生しない環境下での増設をお願いします。(システムライン用、保守用、監視用など)
 - ・アクセスが集中した場合、装置処理能力および伝送速度が若干劣化する可能性があります。

内蔵HDD

ディスクベイ

下記増設HDDの同一N型番のものを2個単位で手配。

	N8850-012	増設用36.3GB HDD (10,000rpm)	52,500円
	N8850-016	増設用36.3GB HDD (15,000rpm)	52,500円
	N8850-013	増設用73.2GB HDD (10,000rpm)	66,000円
	N8850-017	増設用73.2GB HDD (15,000rpm)	97,000円
	N8850-014	増設用146.5GB HDD (10,000rpm)	98,000円
	N8850-019	増設用146.5GB HDD (15,000rpm)	164,000円
	N8850-018	増設用300GB HDD (10,000rpm)	164,000円



(＊) HDDミラーリングが解除された際に再同期の時間短縮をはかるため、
システムインストールディスクは出荷時標準の18.1GB 固定です。
(1stHDD (18.1GB) の置き換えは出来ませんので、ご注意願います)

146.5GBを超える内蔵HDDを搭載する場合はRDR機能対応モデルのご使用を推奨します。

iStorage S500/S1500/S2500/S2800

注意! 接続には以下のソフトウェアどちらが必要。



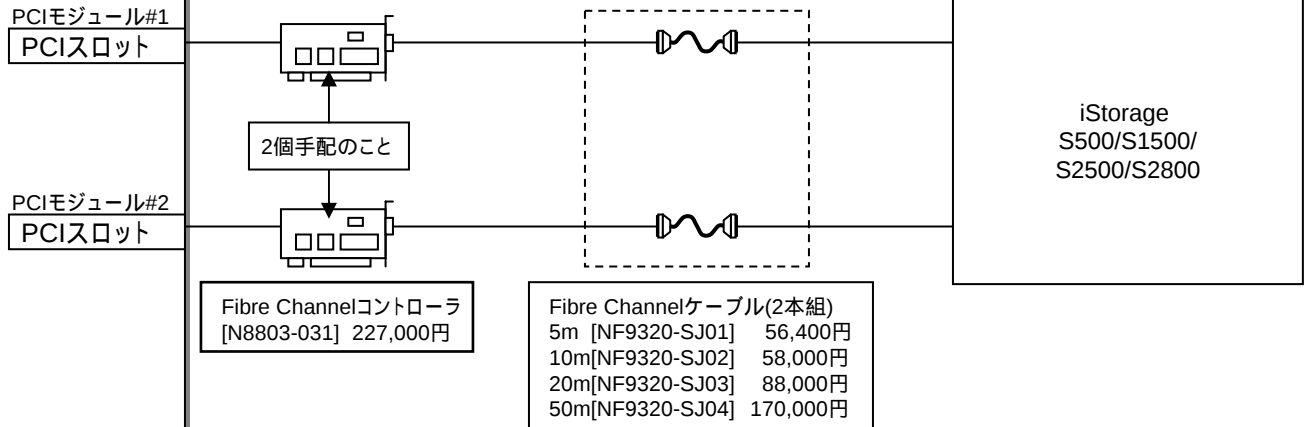
UFS206-H1420WN SystemGlobe StoragePathSavior 3.2 Standard forWindows
(対応機種 S2500/2800 クラスタ対応)

426,400円

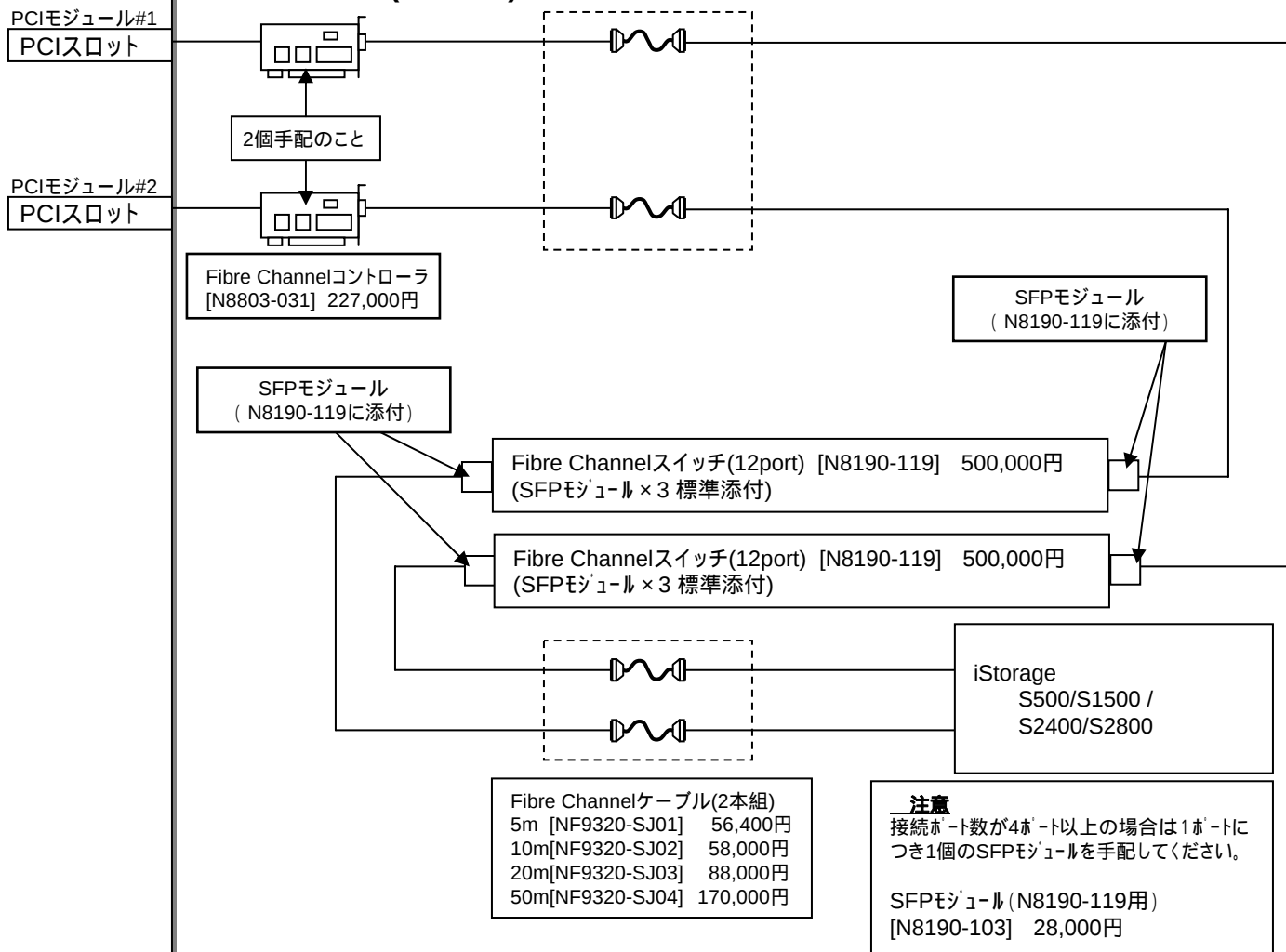
UFS206-H1430WN SystemGlobe StoragePathSavior 3.2 Lite for Windows
(対応機種 S500/1500 クラスタ対応)

242,400円

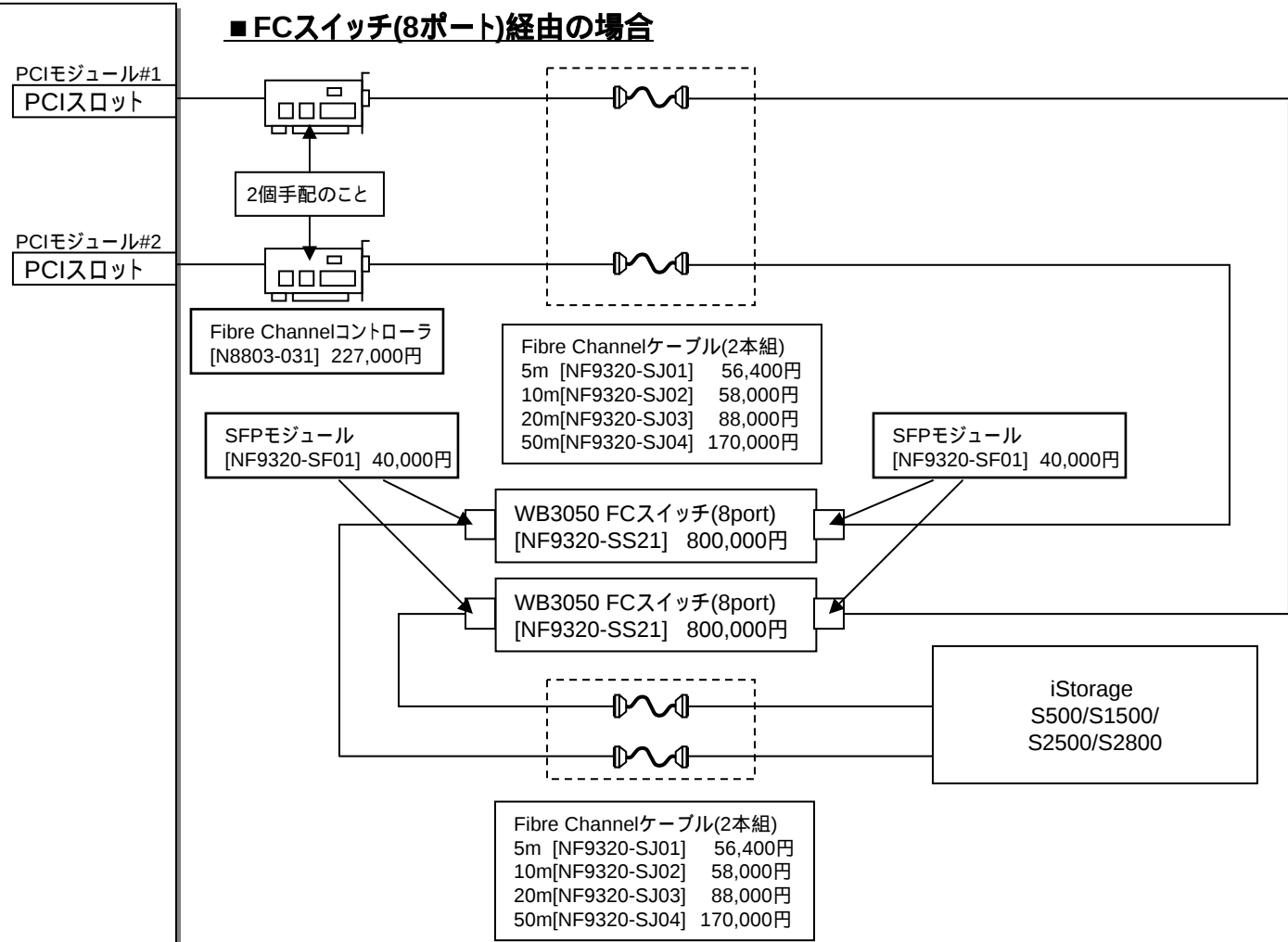
■直結の場合



■FCスイッチ(12ポート)経由の場合



■FCスイッチ(8ポート)経由の場合



注意

WB3050 FCスイッチ(8port)にFCケーブルを接続する場合、1ポート増設時1個SFPモジュール[NF9320-SF01]が必要

iStorage S500

注意!

接続にはitサーバ側の制御ソフトウェアとして以下が必要。



UFS206-H1430WN SystemGlobe StoragePathSavior 3.2 Lite for Windows

242,400円

PCIモジュール#1

PCIスロット

PCIモジュール#2

PCIスロット

2個手配のこと

Fibre Channelコントローラ
[N8803-031] 227,000円

Fibre Channelケーブル(2本組)

5m [NF9320-SJ01] 56,400円

10m [NF9320-SJ02] 58,000円

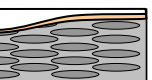
20m [NF9320-SJ03] 88,000円

50m [NF9320-SJ04] 170,000円

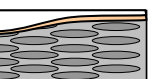
S500用FCディスクインロージャ

[NF0500-SE42] 700,000円

増設FCディスクドライブを15台搭載可能



どちらかを一方を選択
最大で2台まで接続可能



S500用SATAディスクインロージャ

[NF0500-SE82] 1,000,000円

増設SATAディスクドライブを15台搭載可能



S500用増設SATAディスクドライブ

・400GB 7,200rpm ディスクドライブ

[NF0500-SM802] 120,000円

RAID構成の制限

RAID-6 (4+PQ) 6 ~
(8+PQ) 10 ~ のみ

S500用オプションバッテリー [NF0500-SZ01] 50,000円

キャッシュメモリのバッテリーバックアップ時間を
24H→72Hに拡張。

iStorage S500 ベーシックパッケージ
[NF0500-SR40P42] 1,2,3 1,500,000円

ホストポート

ホストポート

CONT0

DEポート

ホストポート

ホストポート

CONT1

DEポート

増設FCディスクドライブを15台搭載可能



S500用増設FCディスクドライブ

・73GB 10,000rpm ディスクドライブ
[NF0500-SM413] 90,000円

・147GB 10,000rpm ディスクドライブ
[NF0500-SM414] 130,000円

・300GB 10,000rpm ディスクドライブ
[NF0500-SM415] 210,000円

・73GB 15,000rpm ディスクドライブ
[NF0500-SM423] 120,000円

・147GB 15,000rpm ディスクドライブ
[NF0500-SM424] 200,000円

RAID構成の制限

RAID-1 1+1 のみ

RAID-5 4D+P のみ

RAID-6 (4+PQ) 6 ~

(8+PQ) 10 ~ のみ

RAID-10 2+2 ~ 8+8 のみ

RAID-50 (4D+P) × 2 のみ

1: Express用ラックN8540-28/29/38、N8540-09/09AC/10/10AC搭載時は別途ラックマウントキット[NF9100-SK03] 30,000円 が必要。

2: 本型番にディスクドライブは含まれていません。最低でも3台の同容量/同回転数のFCディスクドライブを同時に手配して下さい。

3: SystemGlobe iStorage基本制御は、iStorage S500 ディスクアレイ装置ベーシックパッケージに同梱されますので、手配する必要はありません。

3台以上のサーバを同時に1台のS500に接続する場合は、別途SystemGlobe iStorage基本制御のアップグレードが必要です。

5～16接続 SystemGlobe iStorage基本制御 Ver4.2 → iStorage S500 (Lite → Standard) [UFS00G-HA50023] 460,000円

17接続～ SystemGlobe iStorage基本制御 Ver4.2 → iStorage S500 (Standard → Enterprise) [UFS00G-HA50034] 575,600円

必要なライセンスは、S500に接続されるFibre Channelコントローラの枚数 = 接続数

例: itサーバ5台 = FCコントローラ10枚 = 10接続 なので SystemGlobe iStorage基本制御を Standardへアップグレードする必要となります。

iStorage S3300/S4300

注意!

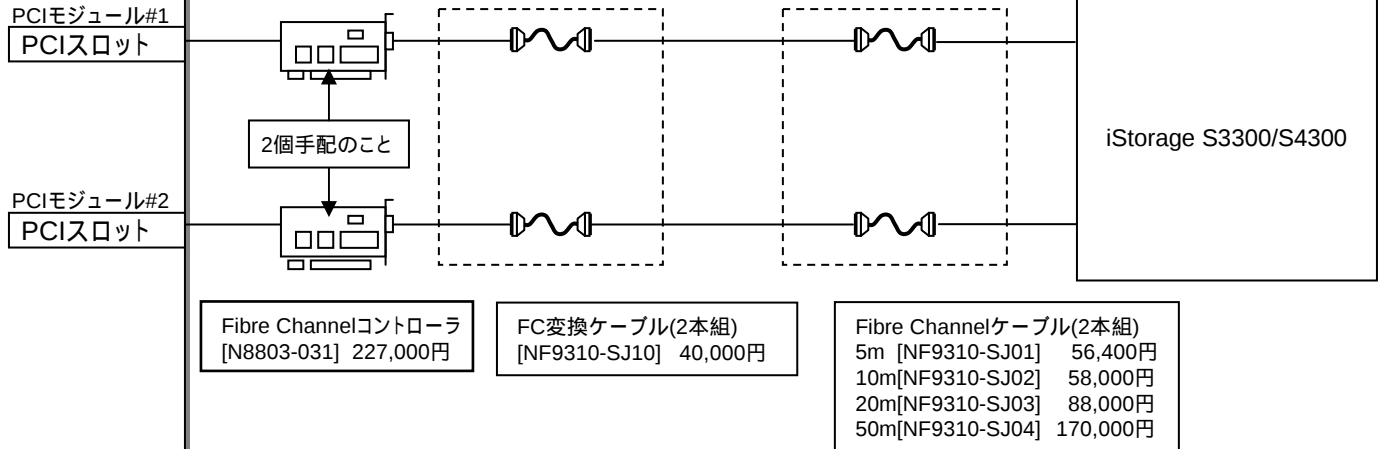
接続にはitサーバ側の制御ソフトウェアとして以下が必要。



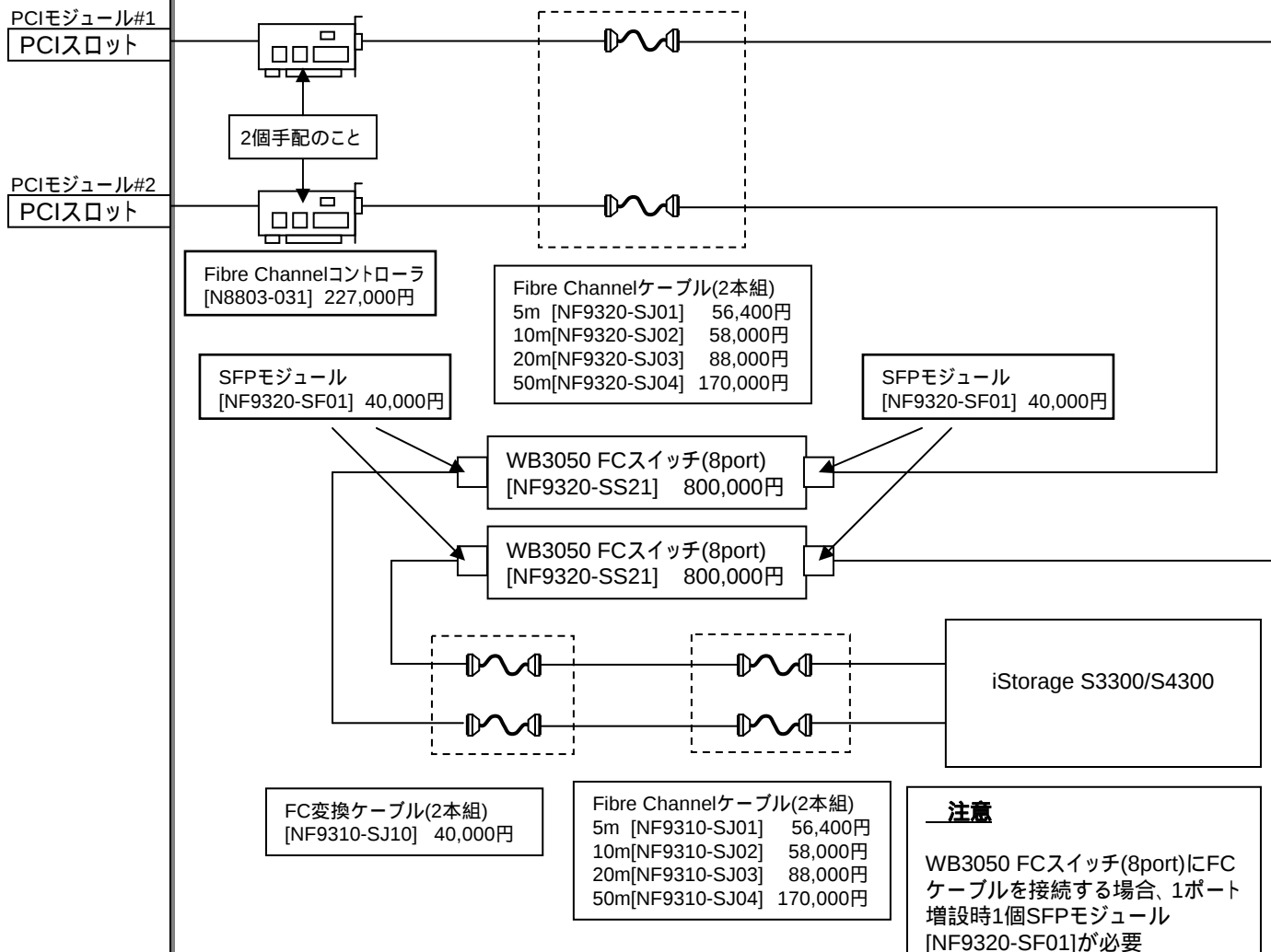
UFS206-H1410 SystemGlobe StoragePathSavior 3.2 Enterprise for Windows

920,000円

■ 直結の場合



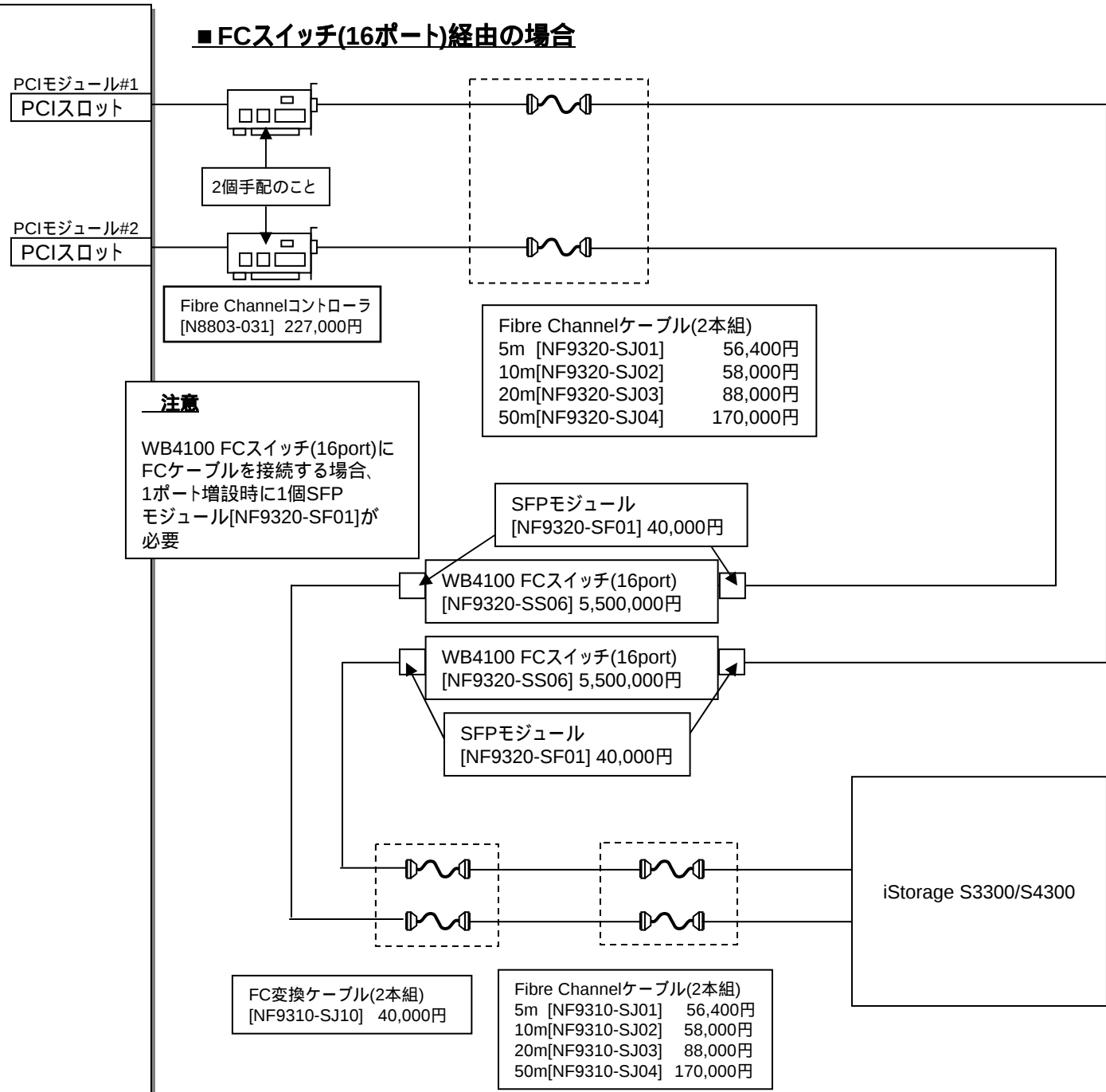
■ FCスイッチ(8ポート)経由の場合



注意

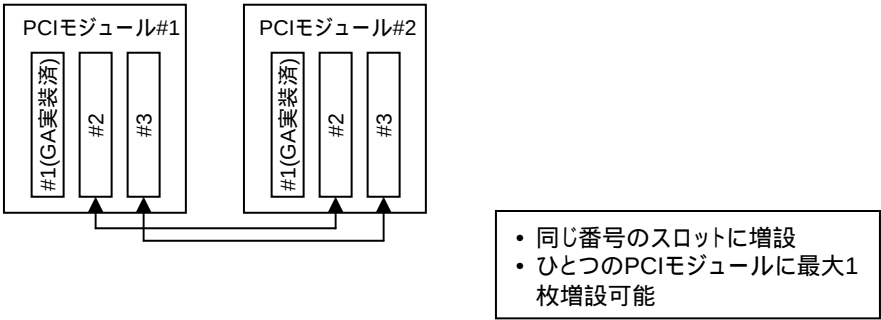
WB3050 FCスイッチ(8port)にFCケーブルを接続する場合、1ポート増設時1個SFPモジュール[NF9320-SF01]が必要

■FCスイッチ(16ポート)経由の場合



• Fibre Channelコントローラ[N8803-031]の増設について

Fibre Channelコントローラは、ひとつのPCIモジュールに最大1枚(合計1組(2枚))の増設が可能。



Fibre Channelディスクアレイ装置

ハードウェアRAID(RAID 1,5)に対応した大容量・高速ストレージ

注意!

接続にはサーバー側の制御ソフトウェアとして以下が必要。



UL1224-001 SystemGlobe PortDuplexManager 1.0 for Windows 300,000円

PCIモジュール#1
PCIスロット

PCIモジュール#2
PCIスロット

Fibre Channelコントローラ
[N8803-031] 227,000円



2個手配のこと



2本手配のこと



SFPモジュール
[N8190-103] 28,000円

2個手配のこと

Fibre Channelケーブル
[K410-125(05)] 20,000円
[K410-125(10)] 22,000円

ディスクアレイ装置収納ユニット
光接続キット[NS8190-109]
168,400円
以下製品のバック
- [N8190-103] SFPモジュール x 4
- [NF9320-SJ01] LCケーブル2本セット x 1

Fibre Channelディスクアレイ装置
[N8190-110] 930,000円 (2U)
HDDを最大12台搭載可能

Fibre Channelディスクアレイ装置用増設コントローラ
[N8190-111] 490,000円
***サーバーの場合は、必須**

ディスクアレイ装置収納ユニット
[N8190-87A] 700,000円 (2U)

HDDを最大12台搭載可能

Fibre Channel用HDD

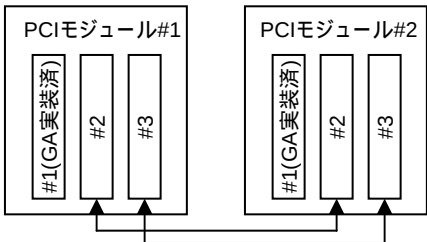
回転数の異なるディスクは混在不可。



N8190-115	増設用36.3GB HDD (15,000rpm)	70,000円
N8190-116	増設用73.2GB HDD (10,000rpm)	75,000円
N8190-117	増設用73.2GB HDD (15,000rpm)	105,000円
N8190-118	増設用146.5GB HDD (10,000rpm)	115,000円

・Fibre Channelコントローラ[N8803-031]の増設について

Fibre Channelコントローラは、ひとつのPCIモジュールに最大1枚(合計1組(2枚))の増設が可能。



- ・ 同じ番号のスロットに増設
- ・ ひとつのPCIモジュールに最大1枚増設可能

外付けバックアップ装置

オンボード

SCSI

SCSIケーブルO

1m [K410-94(01)]	15,000円
2m [K410-94(02)]	20,000円
3m [K410-94(03)]	30,000円

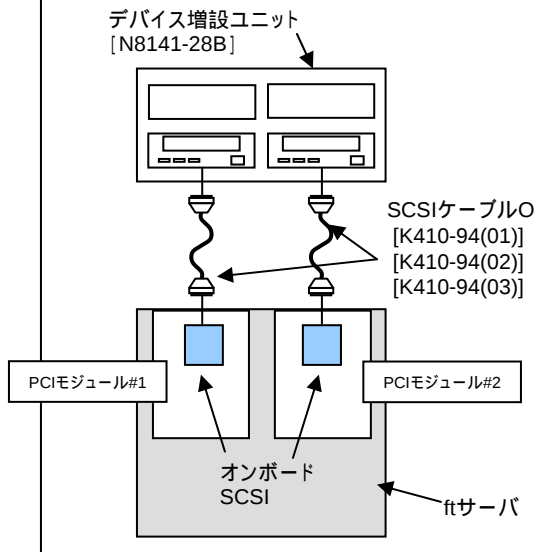
デバイス増設ユニット(2U)
[N8141-28B]121,000円

電源ユニット
[N8181-21]76,000円
電源を冗長化



N8151-54	内蔵AIT(AIT2Turbo)(80GB)	270,000円
N8151-41B	内蔵AIT(AIT3)(100GB)	536,000円
N8151-45	内蔵DAT(DDS4)(20GB)	130,000円
N8151-51	内蔵DAT(DAT72)(36GB)	130,000円
N8151-39	内蔵DAT集合型(20GB×8)	358,000円(デバイスベイ2スロット占有)
N8151-59	内蔵LTO(200GB)	395,000円

ダブルバックアップ構成



【ダブルバックアップ実行時の注意事項】

(1)バックアップジョブについて

ダブルバックアップ構成でバックアップを行う時には、下記の点にご注意下さい。

2セットのオンボードSCSI/SCSIケーブル/バックアップ装置を接続。OSからは、2つのバックアップ装置が、それぞれ別のものとして認識されます。

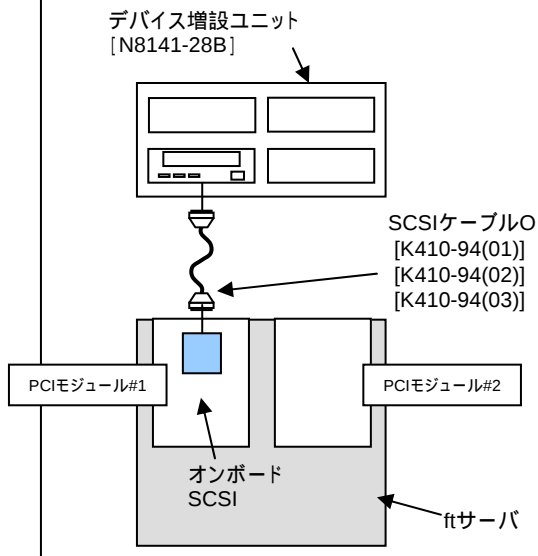
ジョブにより自動バックアップを行う場合は、それぞれのバックアップデバイスに対してジョブを作成し、それぞれのデバイスでバックアップを行います。万一、片方のバックアップ装置に障害が発生しても、もう片方のバックアップ装置でバックアップをとることができます。

(2) BrightStor ARCserve バックアップする時の注意事項

ジョブを作成するときに、デスティネーションタブの[グループ]欄に[*]を指定すると、バックアップが実行できません。

デスティネーションタブの[グループ]欄には、バックアップするデバイスのグループを指定し、[メディア]欄にはメディア名を、または[*]を指定します。=>それぞれの[グループ]を選択したバックアップジョブを2つ作成します。

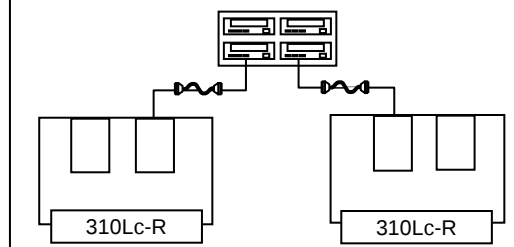
シングルバックアップ構成



【シングルバックアップ実行時の注意事項】

1セットのオンボードSCSI/SCSIケーブル/バックアップ装置を接続。万一、PCIモジュールやバックアップ装置に障害が発生した場合、交換するまでバックアップが行えなくなります。

デバイス増設ユニット[N8141-28B]を
2台のサーバで共有する場合



■ LTO集合型(ラックマウント用)の接続

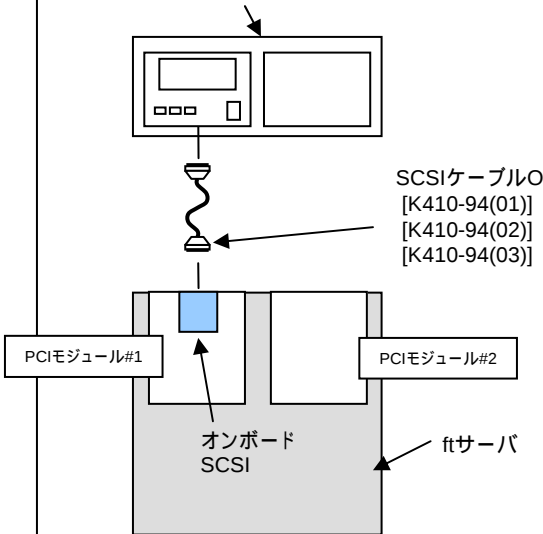
SCSIケーブルO	
1m [K410-94(01)]	15,000円
2m [K410-94(02)]	20,000円
3m [K410-94(03)]	30,000円

オンボード
SCSI

N8160-62 LTO集合型(ラックマウント用)(200GB × 10)(4U)	1,355,000円
N8160-47 LTO集合型(ラックマウント用)(200GB × 10)(4U)	1,980,000円

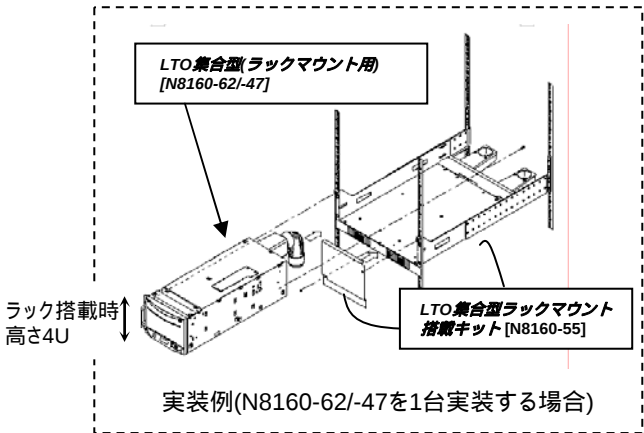
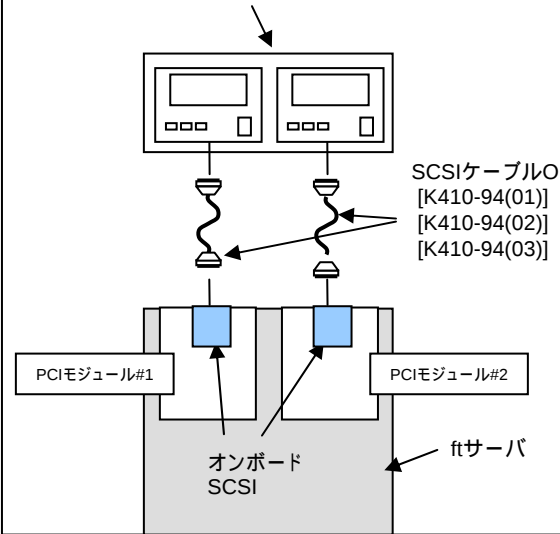
シングルバックアップ構成

LTO集合型ラックマウント搭載キット
[N8160-55]([N8160-62/-47]の場合)



ダブルバックアップ構成

LTO集合型ラックマウント搭載キット
[N8160-55]([N8160-62/-47]の場合)



■ AIT集合型(ラックマウント用)の接続

SCSIケーブルO	
1m [K410-94(01)]	15,000円
2m [K410-94(02)]	20,000円
3m [K410-94(03)]	30,000円

オンボード

SCSI



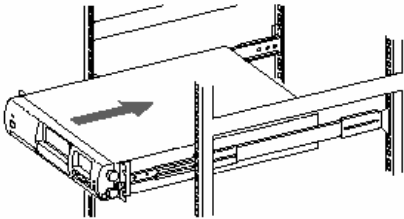
N8160-43 AIT集合型(ラックマウント用)(100GB×8)(1U) 1,250,000円

シングルバックアップ構成

実装例 (N8160-43を実装する場合)

AIT集合型(ラックマウント用)
(100GB×8) (1U) [N8160-43]

ラック搭載時
高さ1U



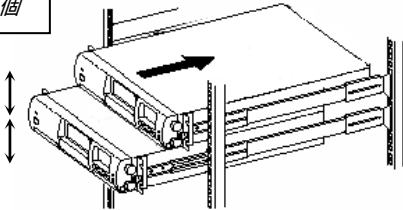
ダブルバックアップ構成

N8160-43 および SCSIケーブルOは各2個手配願います。

実装例 (N8160-43を2個実装する場合)

AIT集合型(ラックマウント用)
(100GB×8) (1U) [N8160-43] 2個

ラック搭載時
高さ各1U、計2U



バックアップ装置の対応について

バックアップ装置とバックアップソフトウェアの対応は以下の通りです。
組み合わせにご注意ください。

装置種類 (型名)		タイプ		Windows2003モデル [N8800-077]					
				Windows 標準 バックアップ	BrightStor ARCserve Backup v11.1	BrightStor ARCserve Backup v9	Backup Exec 10.0	Backup Exec 9.1	NetBackup 4.5
内蔵AIT	N8151-54	内蔵AIT	AIT2Turbo(80GB)	○ *2	○	×	×	×	×
	N8151-41B *1	内蔵AIT	AIT3(100GB)	○	○	○	×	○	×
内蔵DAT	N8151-45 *1	内蔵DAT	DDS4(20GB)	○	○	○	○ *3	○	×
	N8151-51 *1	内蔵DAT	DAT72(36GB)	×	○	○	○ *3	○ *2	×
	N8151-39 *1	内蔵DAT集合型	DDS4(20GB×8)	×	○	○	×	×	×
内蔵LTO	N8151-59	内蔵LTO	LTO2 (200GB)	×	○	×	×	×	×
外付AIT	N8160-43	外付AIT集合型(ラックマウント用)	AIT3(100GB×8)	×	○	○	×	×	×
外付LTO	N8160-62	LTO集合型(ラックマウント用)	LTO (200GB×10)	×	○	×	×	×	×
	N8160-47	LTO集合型(ラックマウント用)	LTO2 (200GB×10)	×	○	○	×	×	×

*1 既にお手持ちのバックアップ装置をオンボードSCSIにて本体直結される場合は
ファームウェアのUpdateが必要となります。(EXPRESSBUILDERに添付済み)

*2 装置添付のドライバをご使用下さい。

*3Veritas 社提供のドライバをご使用ください。

N8151-51 内蔵DAT、N8160-47 外付LTOの後継機に関しては2005年年末までに評価を実施予定。

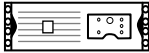
バックアップ設定・運用時の注意事項

- **BrightStor ARCserve** でリストアの際は、バックアップ時と同型の装置をご使用下さい。異なるテープ装置間でのデータ交換はサポートしていません。BrightStor ARCserve ではテープ装置種別により制御が異なるため、同一規格のテープを使用しても、別種類の装置ではエラーが発生する、テープを認識できない、リストアできないという現象が発生する場合があります。BrightStor ARCserveのServicePack、修正モジュールはESSに添付されますが、コンピュータ・アソシエイツ社ホームページ (<http://www.caj.co.jp/>)の認定デバイスリストのページからもダウンロードできます。なお、**「Disaster Recovery Option」は使用できません。**
- **BackupExec**は、接続形態、接続するバックアップ装置、接続する台数によって使用するテープドライバが異なります。**本ページの対応表をご覧ください。**
 - (注意)
BackupExecの修正モジュール/ドライバは、ベリタス社のホームページ(<http://veritas.com/jp/>)からダウンロードできます。
なお、**「Intelligent Disaster Recoveryオプション」は使用できません。**
- **NetBackup**を利用した環境では、Express5800/ftサーバはバックアップデータをバックアップ装置に書き込むサーバとしては利用できません。ただし、Express5800/ftサーバをバックアップ対象マシンとする環境では、NetBackupは利用可能です。
「Disaster Recovery Option」は使用できません。

UPS

Express5800/ftサーバでUPSを利用する場合、「SmartUPS用SNMPカード[N8180-32A]」およびUPS制御ソフトウェア「ESMPRO/AutomaticRunningController」「ESMPRO/AC Enterprise」を使用し、LAN経由での制御が必要になります。

*Express Server Startupの手配もあわせて必要です。
型番に関してはExpress Server Startupサイトにて選定をお願いします。

	N8142-11A	無停電電源装置(3000VA)(ラックマウント用)	294,000円 (3U)
	N8142-23	無停電電源装置(1500VA)(ラックマウント用)	128,000円 (2U)
	N8142-22	無停電電源装置(750VA)(ラックマウント用)	89,000円 (1U)

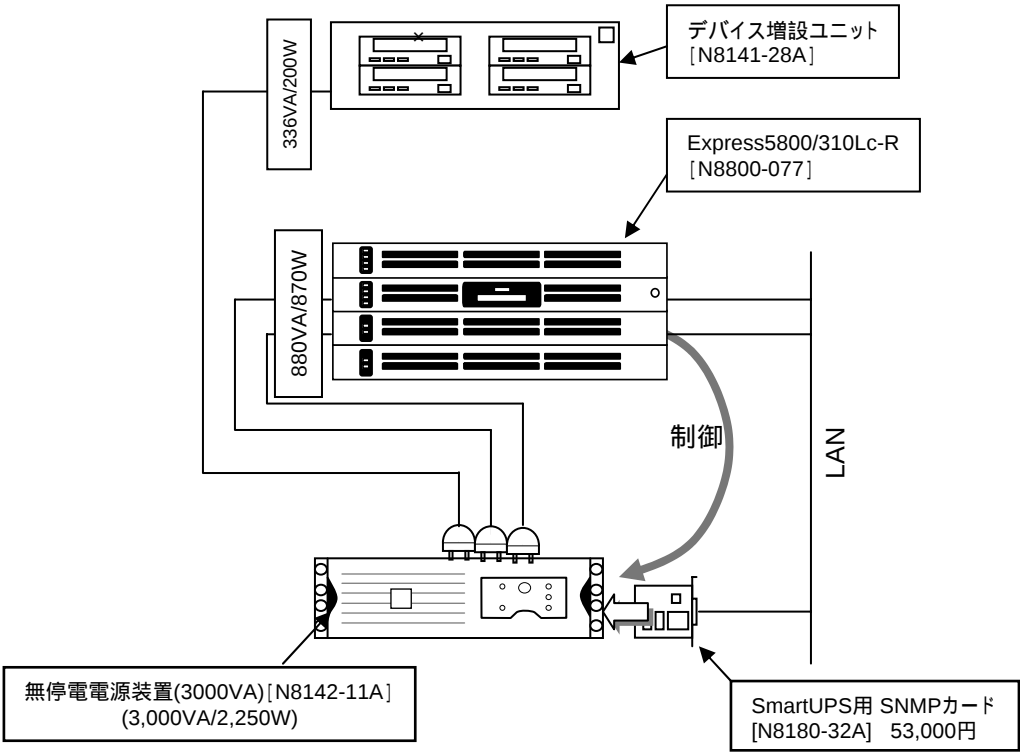
750VA[N8142-22]のUPSは、デバイス増設ユニットなど周辺機器のみ接続可

	N8180-32A	SmartUPS用 SNMPカード	53,000円
---	-----------	-------------------	---------

	UL1046-B01	ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4	80,000円
---	------------	--	---------

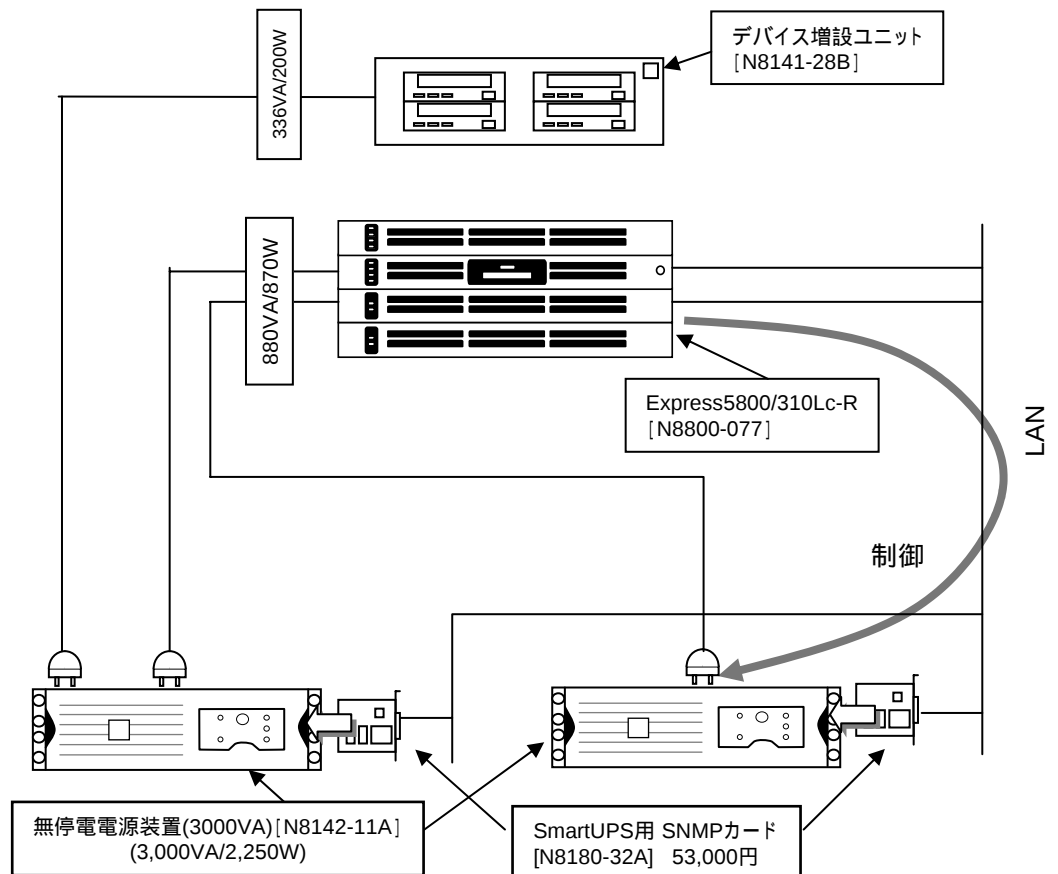
	UL1046-502	ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1	20,000円
---	------------	-----------------------------	---------

UPSシングル接続例



注)
シリアルポート(RS-232C)経由による接続、および
ESMPRO/UPSManager、PowerChutePlus等
を使用したUPS制御はできません。

UPS冗長接続例



注)
シリアルポート(RS-232C)経由による接続、および
ESMPRO/UPSManager、PowerChutePlus等
を使用したUPS制御はできません。

5000VA-UPS

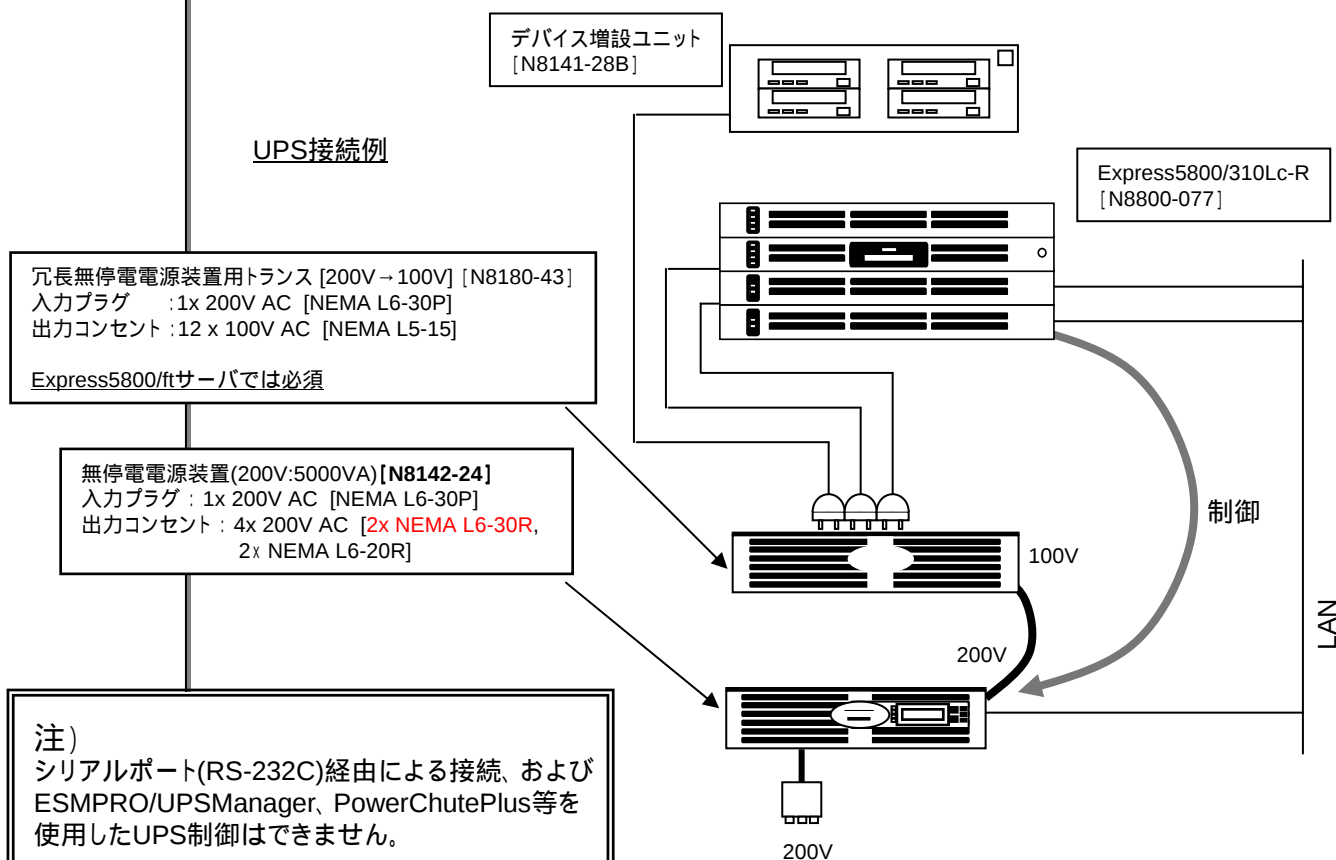
Express5800/ftサーバでUPSを利用する場合、「SmartUPS用SNMPカード[N8180-32A]」およびUPS制御ソフトウェア「ESMPRO/AutomaticRunningController」「ESMPRO/AC Enterprise」を使用し、LAN経由での制御が必要です。

*Express Server Startupの手配もあわせて必要です。

型番に関してはExpress Server Startupサイトにて選定をお願いします。

N8142-24	無停電電源装置(AC200V:5000VA)(ラックマウント用) 19"ラックマウント時、3U * N8142-24は、SNMPカード (N8180-32A相当,1枚) を標準搭載しております	850,000円
N8180-43	冗長無停電電源装置用トランス [200V → 100V] 19"ラックマウント時、2U * Express5800/ftサーバでは必須となります。	160,000円
	UL1046-B01 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4	80,000円
	UL1046-502 ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1	20,000円

UPS接続例



[注意] 5000VA-UPSの供給電力容量表記について

N8180-43 冗長無停電電源装置用トランスを用いてAC100Vの装置を接続する場合、最大容量は**3500VA(3500W)**です。
 冗長無停電電源装置用トランス[N8180-43]の最大出力が35A(100V)のため、供給可能な皮相電力(VA)は最大3,500VAとなります。

[注意] 後述の供給電力容量、コネクタ形状、消費電力計算方法を必ず参照願います。

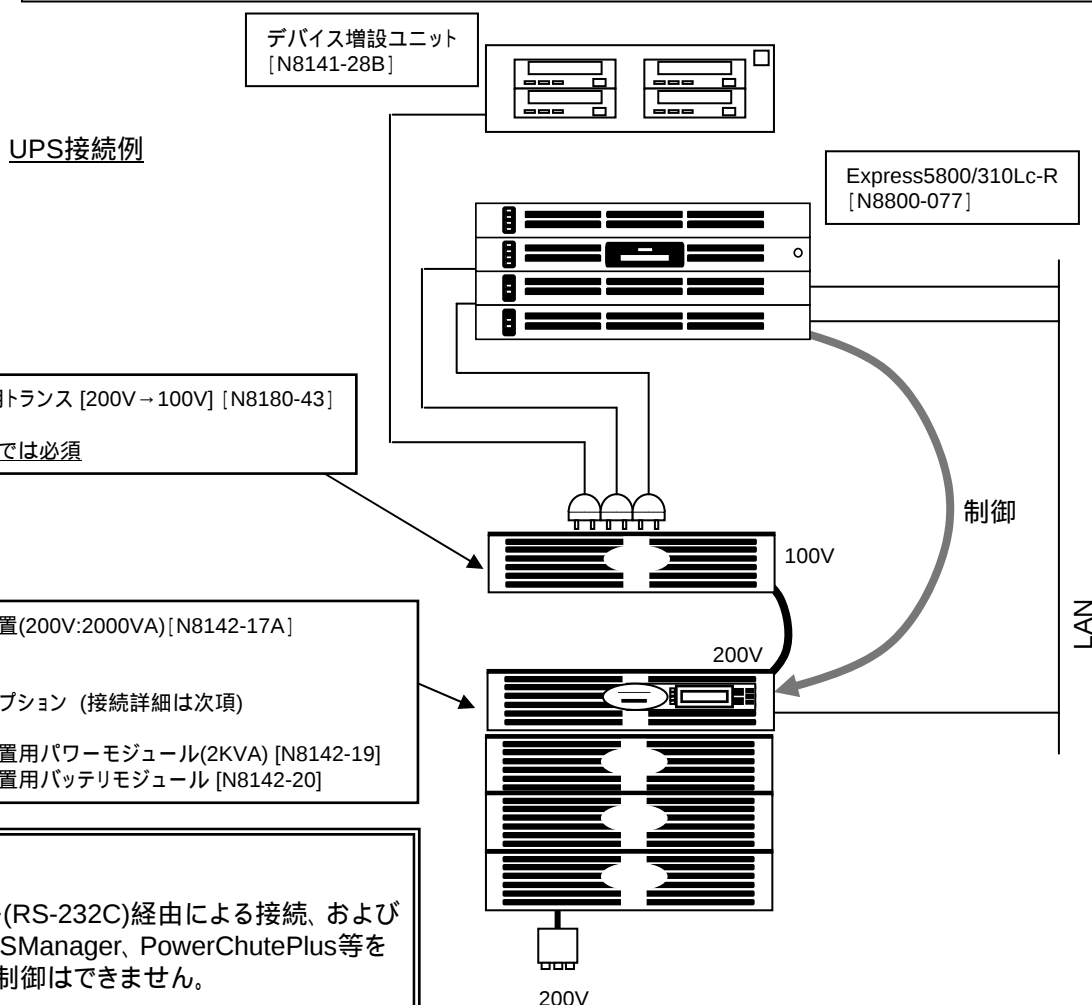
冗長型UPS

Express5800/ftサーバでは、電源モジュールを冗長化した高可用性UPSを利用することができます。UPS制御ソフトウェア「ESMPRO/AutomaticRunningController」、「ESMPRO/AC Enterprise」を使用し、LAN経由での制御が必要になります。

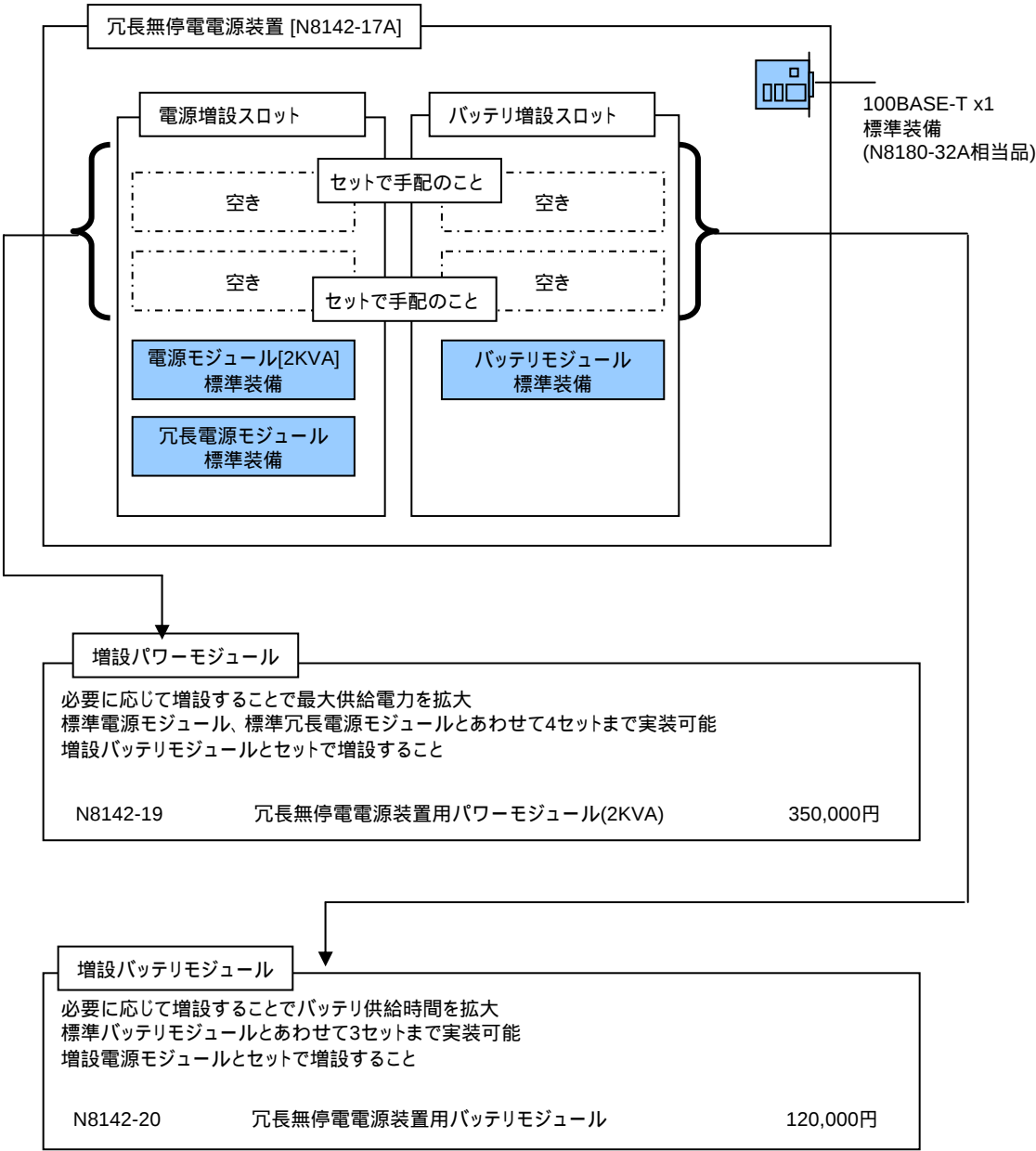
*Express Server Startupの手配もあわせて必要です。

型番に関してはExpress Server Startupサイトにて選定をお願いします。

N8142-17A	冗長無停電電源装置(AC200V:2000VA)(ラックマウント用) 19"ラックマウント時、8U * N8142-17Aは、SNMPカード (N8180-32A相当,1枚) を標準搭載しております	1,000,000円
N8180-43	冗長無停電電源装置用トランス [200V→100V] 19"ラックマウント時、2U * <u>Express5800/ftサーバでは必須となります。</u>	160,000円
N8142-19 N8142-20	冗長無停電電源装置用パワーモジュール(2KVA) 冗長無停電電源装置用バッテリーモジュール <u>* N8142-17 冗長無停電電源装置に内蔵 (接続詳細は次項)</u>	350,000円 120,000円
	UL1046-B01	ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.4 80,000円
	UL1046-502	ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1 20,000円



冗長型UPS 内蔵オプション

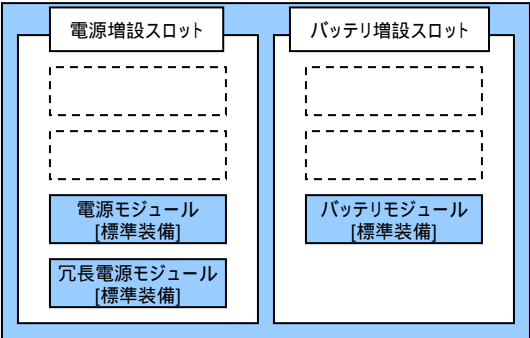


[注意] 増設時の供給電力容量については次ページを参照願います。

[注意] 冗長型UPSの供給電力容量表記について

増設電源モジュール、増設バッテリーモジュールを増設することで、最大供給容量を拡大することができます。
ただしN8180-43 冗長無停電電源装置用トランスを用いてAC100Vの装置を接続する場合、最大容量が異なりますので注意が必要です。

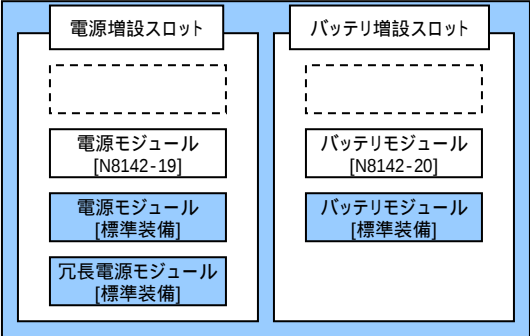
標準構成時
1800VA (1260W) (N8180-43を経由しAC100V供給時)



型番	製品名	数量
N8142-17A	冗長無停電電源装置	1
N8180-43	冗長無停電電源用トランス	1

電源モジュール/バッテリーモジュールを1セット増設時
3500VA (2520W) *1 (N8180-43を経由しAC100V供給時)

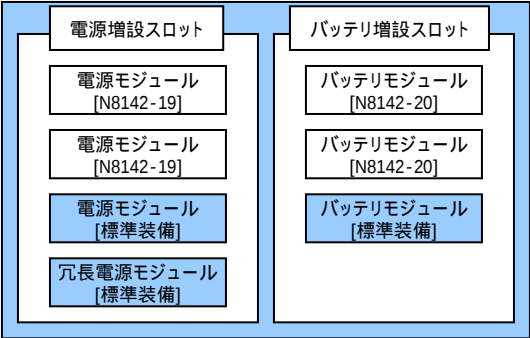
冗長無停電電源装置用トランス[N8180-43]の最大出力が35A(100V)のため、供給可能な皮相電力(VA)は最大3,500VAとなります。



型番	製品名	数量
N8142-17A	冗長無停電電源装置	1
N8180-43	冗長無停電電源用トランス	1
N8142-19	冗長無停電電源装置用 パワーモジュール(2kVA)	1
N8142-20	冗長無停電電源装置用 バッテリーモジュール(2kVA)	1

電源モジュール/バッテリーモジュールを2セット増設時
3500VA(3500W) *1 (N8180-43を経由しAC100V供給時)

冗長無停電電源装置用トランス[N8180-43]の最大出力が35A(100V)のため、供給可能な皮相電力(VA)は最大3,500VAとなります。



型番	製品名	数量
N8142-17A	冗長無停電電源装置	1
N8180-43	冗長無停電電源用トランス	1
N8142-19	冗長無停電電源装置用 パワーモジュール(2kVA)	2
N8142-20	冗長無停電電源装置用 バッテリーモジュール(2kVA)	2

UPS供給電力容量

型名	製品名	皮相電力(VA)	有効電力(W)	サービス コンセント数
N8142-22	無停電電源装置(750VA)(ラックマウント用)	750	480	4
N8142-23	無停電電源装置(1500VA)(ラックマウント用)	1500	950	6
N8142-11A	無停電電源装置(3000VA)(ラックマウント用)	3000	2250	8
N8142-17A	冗長無停電電源装置(AC200V;2000VA) *N8180-43 冗長無停電電源装置用トランス(200V→100V)接続時	1800	1260	12
N8142-17A N8142-19 N8142-20	冗長無停電電源装置(AC200V;2000VA) *N8142-19 冗長無停電電源装置用パワーモジュール x1および *N8142-20 冗長無停電電源装置用バッテリーモジュール x1実装時 *N8180-43 冗長無停電電源装置用トランス(200V→100V)接続時	3500 (*1)	2520	12
N8142-17A N8142-19 N8142-20	冗長無停電電源装置(AC200V;2000VA) *N8142-19 冗長無停電電源装置用パワーモジュール x2および *N8142-20 冗長無停電電源装置用バッテリーモジュール x2実装時 *N8180-43 冗長無停電電源装置用トランス(200V→100V)接続時	3500 (*1)	3500	12
N8142-24	無停電電源装置(AC200V;5000VA) *N8180-43 冗長無停電電源装置用トランス(200V→100V)接続時	3500 (*1)	3500	12

1. **N8142-11A**はAC入力に回し固定プラグ(NEMA L5-30P)を使用しています。回し固定プラグ(NEMA L5-30P)のままでは、最大容量を使用することは出来ません。(2250VA以下/2250W以下まで使用可能)。最大容量(2250VA～3000VA/2250W以下)を必要とする場合は、本装置標準プラグではなく#10AWG入力ケーブル(HARDWIRE)に変更し、端子台接続に変更工事が必要です。入力プラグ及び入力コンセント(端子台)の電源工事を行う場合は、販売店又は、保守サービス会社にお問い合わせ下さい。
2. **N8142-17 A/24**を使用する場合は、AC入力に大電流に対応したNEMA L6-30Pコネクタが必要となります。通常のACコンセントでは使用できないため、電源コンセントの工事が必要です。また、**N8142-24はメンテナンスバイパス機能がないため、UPSからトランス(200v→100v)の他にAC200Vを給電する場合は、保守の際の他AC200V給電用に商用電源コンセントをUPS用とは別に予備設置が必要です。**
例：トランス(200v→100v) + AC200V/20Aを2口接続の場合
NEMAL6-30R (UPS用)を1口とNEMAL6-20Rを2口、電源コンセント工事が必要です。
3. **N8142-17 A/24**本体の標準入力プラグ(NEMA L6-30P)使用時は25Aです。
N8142-17Aは標準入力プラグ(NEMA L6-30P)のままでは、最大容量を使用することはできません。<25A/5000VA>まで。
N8142-17Aにて最大容量<30A/3000VA>を必要とする場合は、本装置標準の入力用ケーブル、プラグではなく#10AWGのケーブルを使用し、端子台接続に取り替える必要があります。
また、分電盤回路への接続には資格を有した電気技術者が行う必要があるため、販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。
4. 負荷はVA, W どちらも定格内になるように計算して接続してください。
AC200V入力機器の場合、単体で30Aを超える機器の接続はできません。
N8180-43電圧変換トランス側を使用した場合、AC200V入力機器は、単体で20Aを超える機器の接続はできません。
AC100V入力機器の場合、単体で15Aを超える機器の接続はできません。
詳細は“冗長無停電電源装置接続について”を参照してください。
5. AC100V入力機器を接続する場合、電圧変換トランス[N8180-43]が必須です。

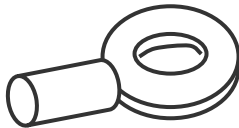
(*1) N8180-43 冗長無停電電源装置用トランスの最大出力は35A (100V)のため、皮相電力(VA)は最大3500VAとなります。

[コネクタ形状について]

[N8142-17 A/24]
NEMA L6-30P用のコ
ンセント形状
(工事必要)



[N8142-17 A/24]
圧着端子 (端子台接続)
(工事必要)

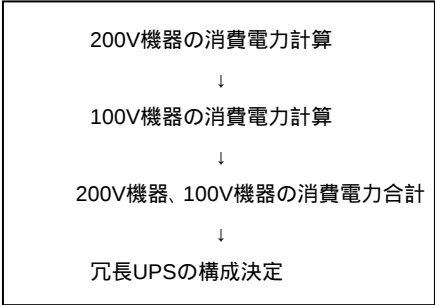


接続機器消費電力容量

型名	製品名	皮相電力(VA)	有効電力(W)	コネクタ数
N8800-077	Express5800/310Lc-R (X/2.80G(512)-18W2K3E-D-R)	880	870	2
N8190-110	FibreChannelディスクアレイ装置	400	380	2
N8190-87A	ディスクアレイ装置収納ユニット	380	360	2
NF0100-SR4xx	iStorage S100	550	530	2
NF1300-SR4xx	iStorage S1300	550	530	2
NF2300-SR4xx	iStorage S2300(ディスクアレイコントローラ部)	330	324	2
	iStorage S2300(ディスクエンクロージャ部)	520	515	2
NFxx00-SE41	増設ディスクエンクロージャ(S100,S1300,S2300用)	520	515	2
NF3300-SB01	iStorage S3300 基本筐体	3400	3100	2
NF3300-SE0x	拡張筐体 (iStorage S3300用)	3000	2700	2
NF3300-SE21	大容量拡張筐体 (iStorage S3300用)	4500	4100	2
NF4300-SB01	iStorage S4300 基本筐体	3400	3100	2
NF4300-SE0x	拡張筐体 (iStorage S4300用)	3000	2700	2
NF0400-SR40P	iStorage S400 ディスクアレイ装置クイックバック	680	660	2
NF1400-SR40	iStorage S1400	680	660	2
NF2x00-SR40	iStorage S2400,S2800	330	324	2
NFxx00-SE42	増設ディスクエンクロージャ(S400,S1400,S2400,S2800用)	520	515	2
NF9320-SS21	iStorage WB3050		30	1
NF9320-SS06	iStorage WB4100		120	2
N8141-28B	デバイス増設ユニット(ラックマウント用)	336	200	1
N8160-62	LTO集合型(ラックマウント用)	130	125	1
N8160-47	LTO集合型(ラックマウント用)	130	125	1
N8160-43	AIT集合型(ラックマウント用)	100	55	1
N8171-30B	15型カラーディスプレイ	120	75	1
N8171-42	15.1型液晶ディスプレイ	36.8	23	1
N8191-04	サーバスイッチユニット(2Server)	16.5	8.1	1
N8191-09	サーバスイッチユニット(8Server)	7.9	4.5	1

冗長UPS(N8142-17A)、5000VA-UPS(N8142-24)における消費電力計算法

計算の流れ



200V機器の消費電力計算

この装置は200V入力、200V出力なので200V機器はそのまま計算します。

- ・200V機器の計算式VA = 定格銘板にあるVA表示の合計W
= 定格銘板にあるW表示 の合計(W表示がない場合はVA表示の値)

100V機器の消費電力計算

100V機器の場合は、100V機器の負荷にトランスの損失分を追加して計算します。

- ・100V機器の計算式VA = 定格銘板にあるVA表示の合計 + トランスの損失分450VAW
= 定格銘板にあるW表示の合計 + トランスの損失分450W(W表示がない場合はVA表示の値)
尚、トランス自身の出力容量(3500VA / 3500W)にも注意願います。

200V機器、100V機器の消費電力合計

200V機器の計算値と100V機器の計算値を合計した値が、消費電力の合計になります。

- ・冗長UPSの消費電力消費電力(VA) = 200V機器(VA) + 100V機器(VA)消費電力(W)
= 200V機器(W) + 100V機器(W)

冗長UPSの構成決定

消費電力により次の様な構成になります。

- ・冗長UPS(6KVA構成)

4000VA < 消費電力(VA) 6000VA

2800W < 消費電力(W) 4200W
- ・冗長UPS(4KVA構成)

2000VA < 消費電力(VA) 4000VA

1400W < 消費電力(W) 2800W
- ・冗長UPS(2KVA構成時)

消費電力(VA) 2000VA

消費電力(W) 1400W

サーバ向け保守サービス

NECの保守サポートは、パック製品/契約型の2つの方式から選択していただくことが可能です。

(1) パック製品

保守サービスをパックした製品です。
お申し込み用紙に必要事項を記入し、窓口にお送りいただくだけで簡単に保守サービスを開始することが可能です。

	パターンA	パターンB
ハードウェア 保守サービス	<u>ExpressSupportPackG2</u> or <u>ExpressSupportPack</u>	<u>ExpressSupportPackΣ</u> (OS再インストール、受付窓口一元化サービス付き)
ソフトウェア保守 サービス(OS)	<u>PPSupportPack</u>	
ソフトウェア保守 サービス(SW)	<u>ExpressSupportPackプログラム・プロダクト</u> / <u>PPSupportPack</u> (ESMPRO/BOM、バックアップSWなど)	<u>ExpressSupportPackプログラム・プロダクト</u> / <u>PPSupportPack</u> (ESMPRO/BOM、バックアップSWなど)

(2) 契約型

契約書を交わし、NECが保守サービスを請け負う形式の保守サービスです。
保守サービスの多様な形態、時間帯を選択することが可能です。

	パターンC
ハードウェア サポート	ハードウェア・メンテナンスサービス
OS サポート	PP・サポートサービス
オプションSW サポート	PP・サポートサービス

ハードウェア保守サービス

オンサイト保守サービス製品。
対象:サーバ本体及びサーバ内蔵製品、ディスプレイ、UPS(～3000VA)

障害兆候を事前に検出し自動通報を行う
エクスプレス通報サービス込み。

■ パック製品

ExpressSupprtPackG2 for ftサーバ(エントリモデル)

	対応時間	型番	希望小売価格
3年製品	週連続5日8:30～17:30	NH508-8800-H33	300,000円
	週連続5日8:30～21:00	NH512-8800-H33	330,000円
	24時間365日	NH724-8800-H33	360,000円
4年製品	週連続5日8:30～17:30	NH508-8800-H34	450,000円
	週連続5日8:30～21:00	NH512-8800-H34	500,000円
	365日24時間	NH724-8800-H34	540,000円
5年製品	週連続5日8:30～17:30	NH508-8800-H35	600,000円
	週連続5日8:30～21:00	NH512-8800-H35	660,000円
	24時間365日	NH724-8800-H35	720,000円

Express5800/ftサーバの高可用性を実現するためには、ユニットの障害兆候の検出(エクスプレス通報サービス)や早急な交換を行うハードウェア保守サービスや、主要コンポーネントの二重化を実現するft制御ソフトウェアのアップデートなどを提供するソフトウェア保守サービスの契約が必須です。

ハードウェア保守サービス

オンサイト保守サービス製品。
対象:サーバ本体及びサーバ内蔵製品、ディスプレイ、UPS(～3000VA)

障害兆候を事前に検出し自動通報を行う
エクスプレス通報サービス込み。

■ パック製品

- 週5日8:30～17:30対応

NH508-8800-102	ExpressSupportPack for ft(2D081) 週5日8:30～17:30(1年間)	131,000円
NH508-8800-302	ExpressSupportPack for ft(2D083) 週5日8:30～17:30(3年間)	373,000円

- 週5日8:30～21:00対応

NH512-8800-102	ExpressSupportPack for ft(2D121) 週5日8:30～21:00(1年間)	145,000円
NH512-8800-302	ExpressSupportPack for ft(2D123) 週5日8:30～21:00(3年間)	413,000円

- 24時間365日対応

NH724-8800-102	ExpressSupportPack for ft(2D241) 24時間365日(1年間)	189,000円
NH724-8800-302	ExpressSupportPack for ft(2D243) 24時間365日(3年間)	539,000円

* 従来よりのExpressSupportPackと新製品のExpressSupportPackG2は、当面併売となりますが、新規の提案に関しては、極力、ExpressSupportPackG2にてご提案ください。

■ 契約保守

契約保守の場合は、全ての構成品に個別に保守費が設定されております。
契約時は、その合計保守料にて契約いただきますようお願いいたします。

個々の構成品の保守料は、「価格表」を参照してください。

ソフトウェア保守サービス

お客様から直接NECの技術部門に対して、お問い合わせ及び製品の最新情報を提供するサービス製品。
対象:Windows Server 2003,Enterprise Edition,ESMPRO/ServerManager,ServerAgent
(Express5800/ftサーバで利用するドライバ等含む)

■ パック製品

Windows Server 2003モデル

ULH1S-0000-021	PPSupportPack(Windows Server 2003 Enterprise Edition for ftサーバ) 週5日9:00～17:00(1年間)	190,000円
ULH1S-1004-001	PPSupportPack(バックアップ(ARCserve)	週5日9:00～17:00(1年間) 18,000円
ULH1S-1038-001	PPSupportPack(バックアップ(Backup Exec)	週5日9:00～17:00(1年間) 15,800円
ULH507-1000-109	ExpressSupportPackプログラムプロダクト (ESMPRO/ARC、AC Enterprise)	週5日9:00～17:00(1年間) 24,000円
ULH507-1000-110	ExpressSupportPackプログラムプロダクト (ESMPRO/AC Enterpriseマルチサーバオプション)	週5日9:00～17:00(1年間) 12,000円

ご注意)
・上記ftサーバ本体にバンドルされるOSや添付ソフト以外のソフトウェアに関するサポートには別途PPサ
ポートの契約が必要です。

ソフトウェア保守サービス

お客様から直接NECの技術部門に対して、お問い合わせ及び製品の最新情報を提供するサービス製品。
対象:Windows Server 2003,Enterprise Edition,ESMPRO/ServerManager,ServerAgent
(Express5800/ftサーバで利用するドライバ等含む)

■ 契約保守

Windows Server 2003モデル

ULSV02-102H	PPサポートサービス (月額) (Windows Server 2003,Enterprise Edition for ftサーバ)	15,800円
-------------	---	---------

ご注意)

・上記ftサーバ本体にバンドルされるOSや添付ソフト以外のソフトウェアに関するサポートには別途PPサポートの契約が必要です。

ExpressSupportPack Σ トータルパックサービス

ExpressSupportPack for ft及びExpressSupportPackプログラム・プロダクト for ftを 1 つにまとめて、再インストールサービスを加えたトータルパックサービス(1年間)をお求めやすくパッケージ化した製品。

導入

- ・ エクスプレス通報サービス環境設定
平日(月～金)8:30～17:15で作業

運用

- ・技術問合せ対応(HW/OS)
- ・HWメンテナンス(定期訪問なし)
 - 対象: サーバ本体、およびサーバ内蔵オプション、ディスプレイ、UPS、Disk増設筐体/ユニット
 - エクスプレス通報サービス for Σ ハードウェアのアラームを事前に検出し通報
- ・PP・サポート
 - Windows 2000 Advanced Server+ VERITAS Volume Manager™
 - Windows Server 2003,Enterprise Edition
 - ft制御ソフトウェア、ESMPRO/ServerManager,ServerAgent、
 - 情報提供
 - アップデート媒体の提供(バージョンアップは含まれません)
- ・再インストールサービス
 - 万一システムが復旧不可能な障害時にOSの状態を工場出荷時状態に戻します。
 - 対象ソフトウェアのリビジョンアップ版の適用(年4回まで)

■ 導入<平日>/運用<5日間(月曜日～金曜日)8:30～17:30対応>

Windows Server 2003モデル

NH508-8800-132H	ExpressSupportPack Σ for ftサーバ(Windows2003EnterpriseEdition,ローエンド) 5日間(月～金)8:30～17:30対応 (HW同時購入1年間)	450,000円
NH508-8800-132	ExpressSupportPack Σ for ftサーバ(Windows2003EnterpriseEdition,ローエンド) 5日間(月～金)8:30～17:30対応 (1年間)	517,000円

■ 導入<平日>/運用<24時間365日対応>

Windows Server 2003モデル

NH724-8800-132H	ExpressSupportPack Σ for ftサーバ(Windows2003EnterpriseEdition,ローエンド) 24時間365日対応 (HW同時購入1年間)	520,000円
NH724-8800-132	ExpressSupportPack Σ for ftサーバ(Windows2003EnterpriseEdition,ローエンド) 24時間365日対応(1年間)	633,000円

ご注意)

・ 上記ftサーバ本体にバンドルされるOSや添付ソフト以外のソフトウェアに関するサポートには別途PPサポートの契約が必要です。